



平成23年度
母子保健福祉研修（実践研修）

「震災後の地域母子保健活動の
取り組みについて」
～塩竈市における取り組み～

平成24年2月27日

塩竈市健康福祉部健康推進課
母子保健係 須藤 瞳

1. 本市の被災状況

概要

◇人的被害（平成23年8月5日現在）

- 亡くなられた方 46名
（市内で亡くなられた市民の方 17名、市外で亡くなられた市民の方 29名）
- 行方不明の方 1名

◇住家などの被害（平成23年度6月30日現在）※り災証明書発行状況より

- | | | | | | |
|---------|---|----|--------|-----|------|
| • 全 | 壊 | 住家 | 682件 | 非住家 | 172件 |
| • 大規模半壊 | | 住家 | 1,616件 | 非住家 | 514件 |
| • 半 | 壊 | 住家 | 1,168件 | 非住家 | 149件 |
| • 一部損壊 | | 住家 | 3,973件 | 非住家 | 179件 |

◇避難所の状況

- 3月11日時点 避難所数 市内39か所 避難者数 8,047人
- 7月13日全避難所閉鎖

◇仮設住宅の状況（平成23年12月20日現在）

- 伊保石ステーション 135戸設置 126世帯が入居
- 塩釜ガス体育館駐車場 23戸設置 23世帯が入居
- 浦戸地区 桂島21戸 21世帯、野々島15戸 13世帯、寒風沢12戸 11世帯

◇民間賃貸住宅の状況（平成23年12月20日現在）

- 公営住宅（雇用促進・市営アパート） 11戸
- 民間アパート借上（みなし住宅） 230戸

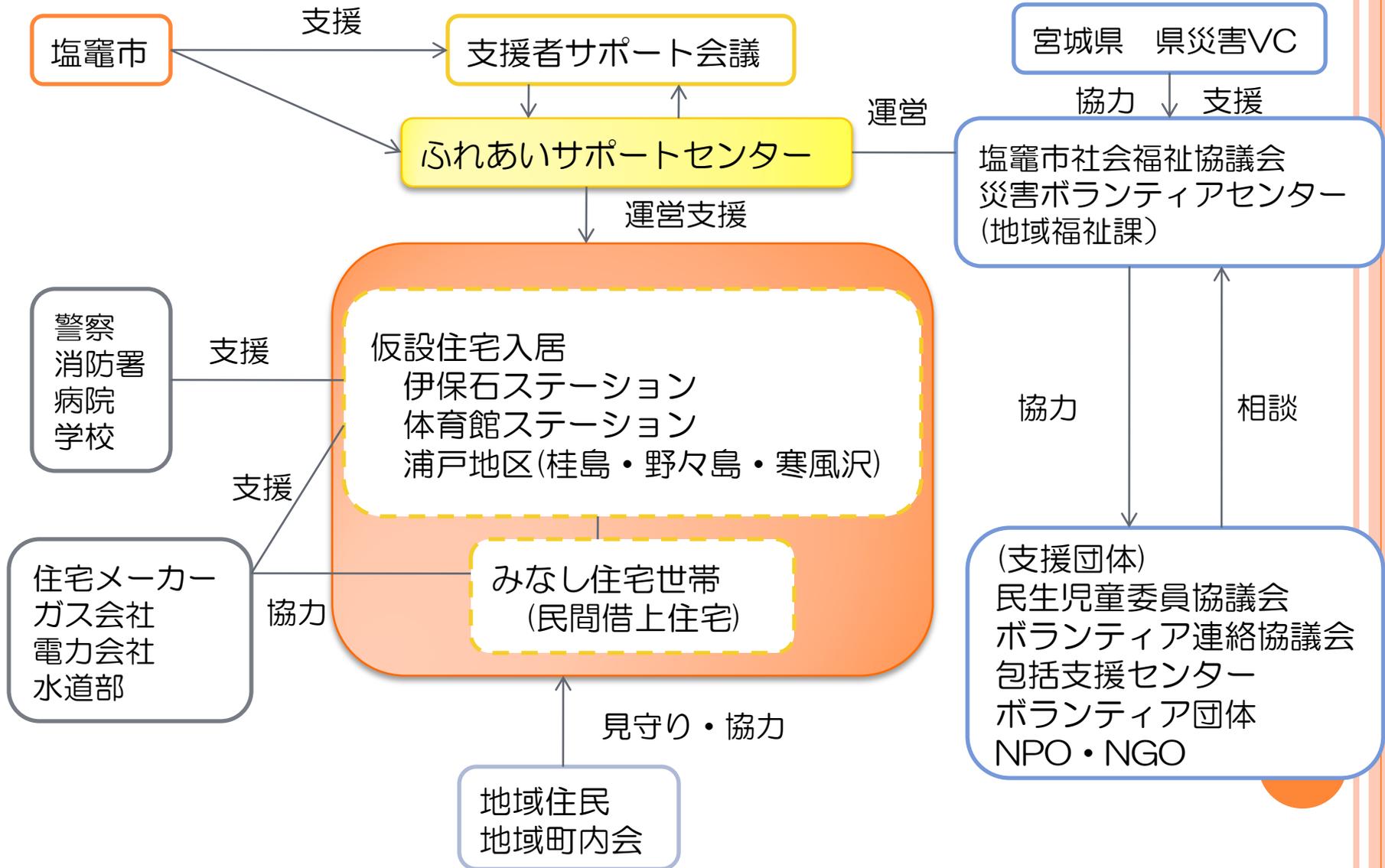
◇住宅が被災した児の数（平成23年12月20日現在）

- 乳幼児 61人
- 児童生徒 97人



ふれあいサポートセンター運営支援体制 (塩竈市社会福祉協議会)

10月1日～



津波浸水エリアと被災状況



北浜地区



新浜地区



新浜地区



新浜地区



塩竈市魚市場



海岸通地区



海岸通地区



北浜地区



港町地区



北浜地区



中の島地区



港町地区



貞山通地区



北浜地区



港町地区マリンゲート前



北浜地区



港町地区

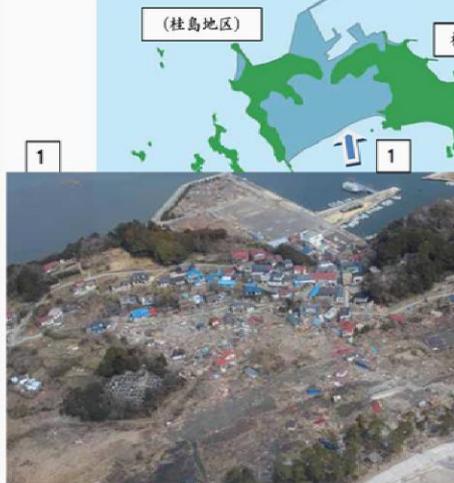
市域の約22%が浸水!



浦戸諸島の津波浸水エリアと被災状況



2・野々島：写真下の海水浴場側から写真上の集落方向に向け津波が襲来。中央部分にあった道路は途中で滅失、家屋も流出、全壊多数。写真の中央部には、巨大な窪地が発生した。



1・桂島地区：写真下の海水浴場から津波が襲来。低地の家屋を破壊し、島の中央部の尾根の方向に押し上げた。尾根近くの住宅も1階部分が被害を受けている。津波はさらに尾根の通路を通り、写真上部の漁港側に達している。津波が運んだガレキによって、尾根を越えた側の家屋にも被害が発生した。石浜地区：低地の家屋が津波で甚大な被害。



4・朴島：集落全体が浸水被害を受けた。



3・寒風沢：津波は対岸の半島によって寒風沢の南側の集落に入り込み、多数の家屋が流失。また岸壁にあった浮き桟橋は柱も流失した。北側の集落も浸水による被害が発生。岸壁は陥没が著しい。



保健センターの被災状況



2. 震災後の対応

目的

震災後の妊婦及び乳幼児に対して、健康状態の把握と親子・その家族の健康的な生活を支援する。また、母子の愛着形成と再構築を見直す。



内容

H23 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 H24 1月 2月 3月

3/15~4/19

市保健師 受け持ちケースを訪問



市保健師 市内の保育所・幼稚園訪問

4/9~5/31

姫路市保健師訪問

<ハイリスク者>

- ・プレママフォロー（妊婦）
- ・要育児支援者（1歳未満）
- ・各種健診フォロー者

<全戸訪問>

- ・1~3歳児

4/8~ 子どものこころのケアチーム巡回相談の活用

4/6~ BCG

市立病院にて再開

4/13~ 4か月児健診

市立病院にて実施

7か月児健康相談

5/11~ 1歳6か月児、2歳6か月児歯科、3歳児健診

休日急患センターにて実施

仮設住宅での懇談会

仮設住宅での懇談会

こころとからだのアンケート調査実施

塩竈市母と子のこころの健康相談事業

心の健康サポート事業：健診会場で心理士への相談

会場が保健センターになり、通常に戻る

会場が保健センターになり、通常に戻る

会場が保健センターになり、通常に戻る

会場が保健センターになり、通常に戻る

訪問活動状況

姫路市保健師訪問

対象者	対象人数	訪問人数	訪問不在人数			継続フォロー
			ポストイン	なし(不明等)	転出	
プレママ	50	27	16	6	1	6
要育児支援者	102	59	32	3	0	1
各種健診フォロー者	188	71	16	43	0	13
1歳	167	104	54	4	0	3
2歳	199	96	24	43	26	2
3歳	290	95	16	17	2	1
5歳	他児の訪問時、居合わせる					1
計	996	452	158	172	29	27

*プレママ：母子手帳交付で気になった母、妊娠期間中にフォローが必要と判断された母

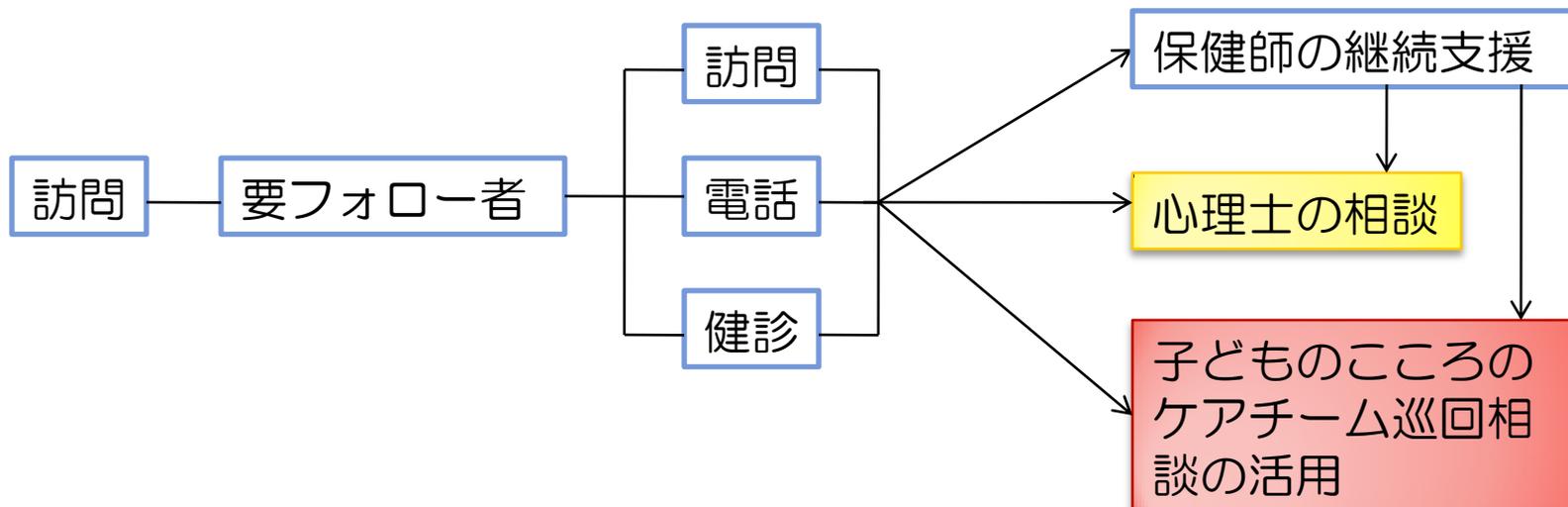
*要育児支援者：EPDS高得点者、育児支援訪問該当者



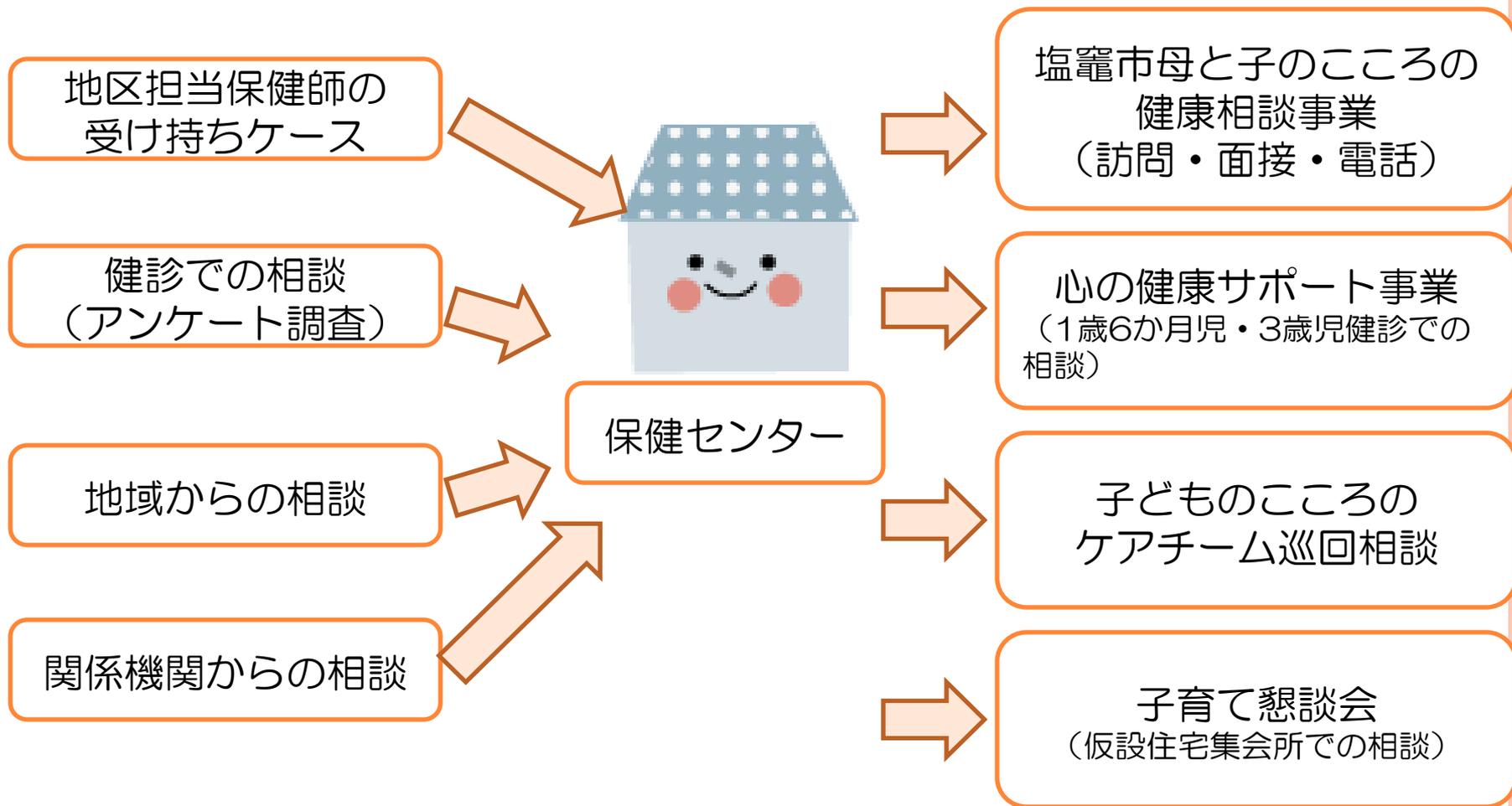
市保健師訪問

対象者	対象人数	訪問人数	継続フォロー
在宅(ハイリスク)	—	60	—
保育所	66	83	66
幼稚園	47	41	34

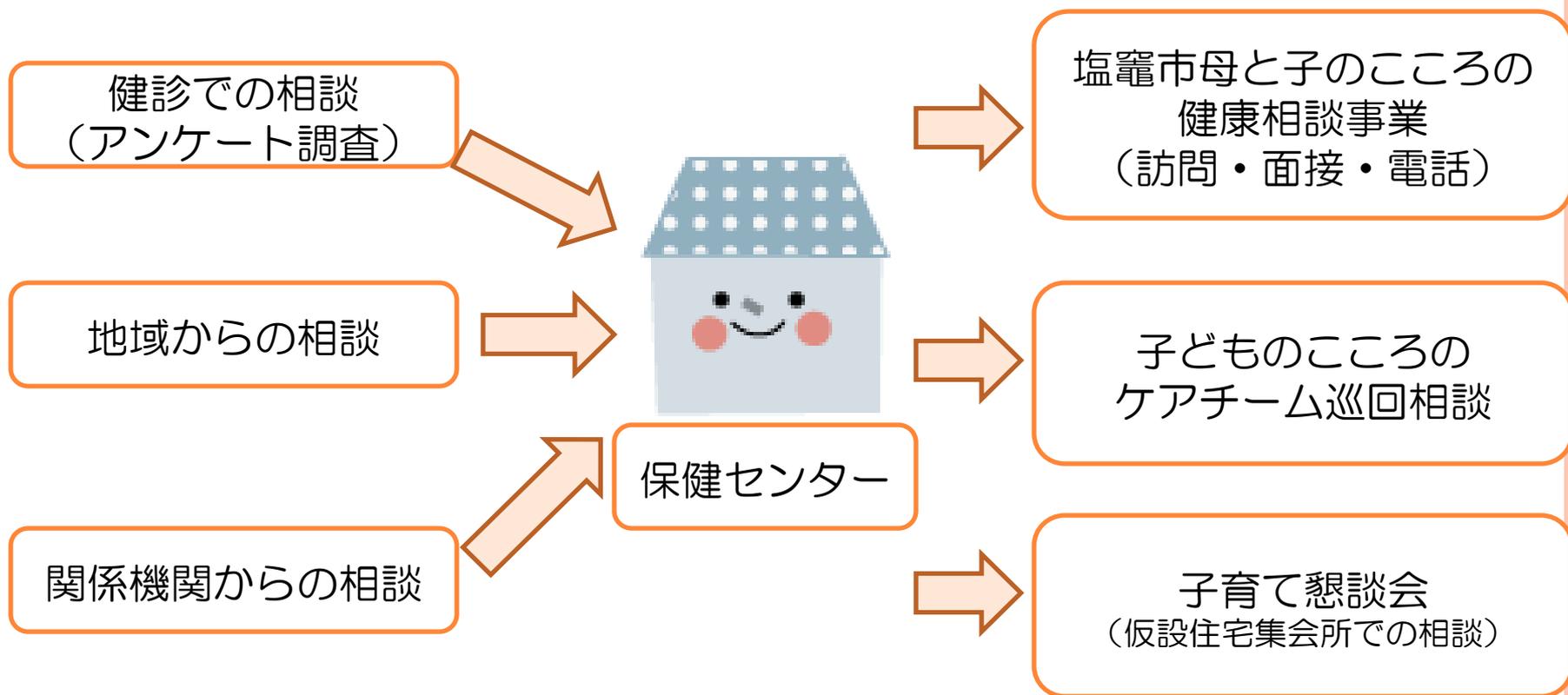
フォロー図



フォローの流れ・全体図



全体図



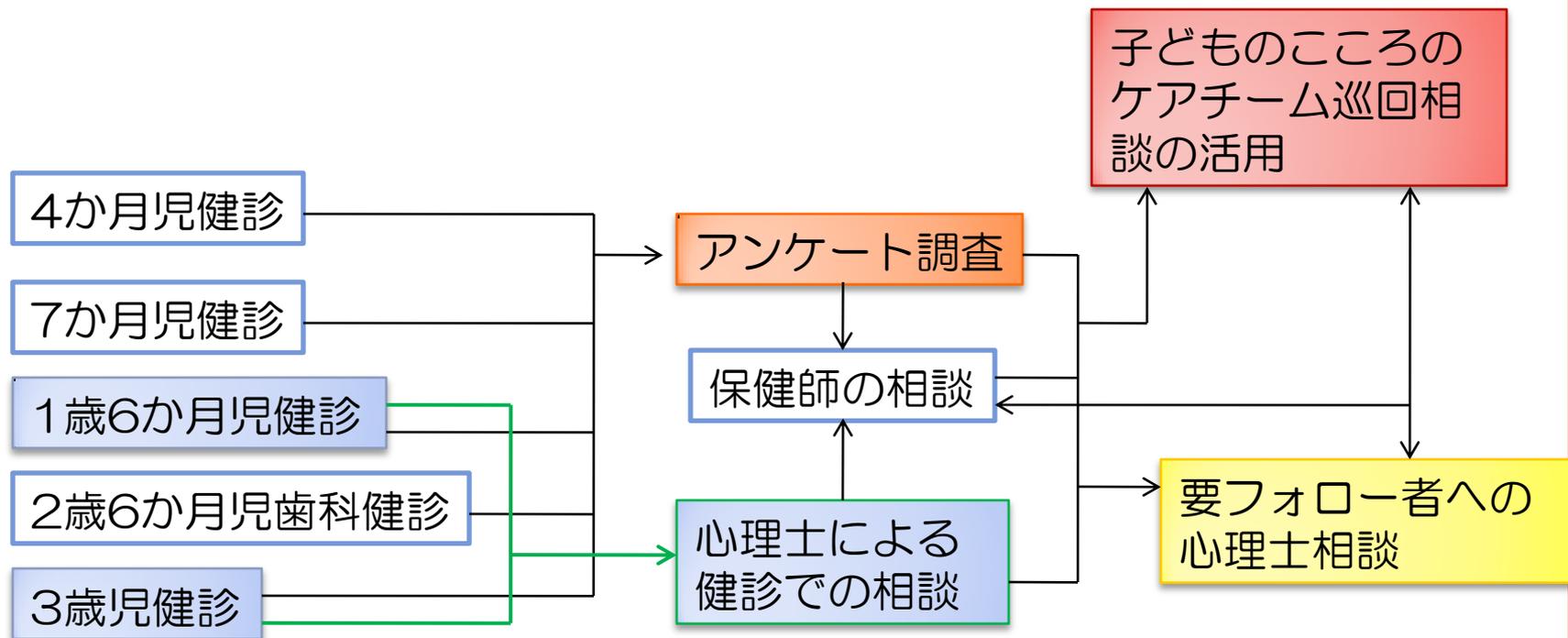
被災児・心のケア対象児のフォロー方法

子どものこころのケアチーム巡回相談

2月末現在の相談件数 25件（延べ）

心の健康サポート事業(健診会場での心理士相談)

2月末現在の相談件数 128件



母と子のこころの健康相談事業

仮設住宅及び在宅の安定した生活を支援するため、臨床心理士・心理療法士による訪問や面接、電話相談を行う。

震災によるこころやからだの様々な影響への長期的なケアに加え、家族関係の改善や子どもの発達への支援、母子の愛着形成への支援を行う。

対象)

- 母子手帳交付で気になった妊婦
- 各種健診アンケートでのフォロー者
- 地域からの相談者
- 地区担当保健師が関わっているケースや気になるケース
- 子どもに関わる保育士・教諭・保健師等の関係者



こころとからだのアンケート実施結果

1.6Y・2.6Y・3Y

H23年度 月 番

こころとからだのアンケート

塩竈市保健センター

このアンケートは、東日本大震災後のお子様と保護者のこころとからだの様子を教えてください、今後皆様にも安心していただけるよう、支援の参考にさせていただきます。

お子さんのお名前（フリガナ）	男・女	生年月日	保護者のお名前
		平成 年 月 日	
現住所 (〒 -)	TEL	年齢	歳
		TEL	

震災の被害は	ご家族の安否は	避難生活をなさいましたか	現在のお住まいは
a 家が全壊 b 家が半壊 c 家が一部損壊 d 家具等が散乱 e 被害なし f その他()	g クラカをした (どなたが) h 亡くなった (どなたが) i 被害はなかった	j 避難所で (約 日) k その他で (約 日) 親戚宅で (どのような) 知人宅で その他 (どのような所で) o しなかった	p 震災前と同じ q 震災後引越した r 仮設住宅 s 親戚宅へ避難 t 親戚・知人が避難してきている

1. お子さんの様子はいかがですか？震災以前・直後と現在の様子で、あてはまるところに（少しあてはまる場合も含めて）○をつけてください。

項目	以前から	直後	現在	項目	以前から	直後	現在
1.赤ちゃん返り				17.パニック（突然、大声をあげるなど）			
2.甘えが強くなる				18.現実がないことを言い出す			
3.わがまま				19.自分のことをよく話す			
4.今までできていたこともできなくなる				20.落ち込む・表情乏しい			
5.親が見えないと泣きわめく				21.ぼーっとする			
6.落ち着きがない				22.食欲の変化（ない、食べ過ぎ、嗜好が変わるなど）			
7.乱暴				23.寝付きが悪い・浅い眠り			
8.話をしなくなる				24.夜泣き			
9.遊びに集中できない				25.泣くして寝るのを嫌がる			
10.同じ遊びを繰り返す				26.何度もトイレに行く、おねしょ			
11.これまでの遊びをしなくなった				27.吐き気、腹痛、下痢、めまい、頭痛、息苦しさ、疲れやすいなどの症状			
12.イライラ・機嫌が悪い				28.アレルギー症状の強弱が強まる			
13.怖がり				29.風邪をひきやすくなる			
14.よくおびえる				30.チック（目をパチパチさせる）			
15.過敏になる							
16.興奮							

(裏面へ)

2. あなた（記入している方）ご自身の最近のお気持ちはいかがですか。震災以前・直後と現在の様子で、あてはまるところに（少しあてはまる場合も含めて）○をつけてください。

項目	以前から	直後	現在
1.あまり眠れない			
2.身体の不調を感じる（頭痛、腹痛、吐き気、めまい等）			
3.イライラしやすい、怒りっぽくなった			
4.いろいろと不安だ			
5.ちょっとした物音や揺れに対してひどく驚いてしまう			
6.気分が落ち込んだり、寂しくなったりすることがある			
7.悪夢に悩まされることがある			
8.物事になかなか集中できない（落ち着いて取り組めない）ことがある			
9.子どもについて当たってしまうことが増えた気がする			
10.子どもの関わりについて戸惑う			

3. 兄弟・姉妹のことについて伺います。

兄弟・姉妹のお名前	生年月日	所属
	平成 年 月 日	保・幼・小
	平成 年 月 日	保・幼・小
	平成 年 月 日	保・幼・小

上のお子さんで心配なことや対応で困ったことは何ですか？

4. 震災直後、生活上で困ったことは何でしたか？

- 例) ・避難所で周囲に気を遣った。
- ・子どもがいたので、給水に行くことができなかった。
- ・病院が開院しているのか等の情報が分からなかった。

5. 現在、生活で困っていることは何ですか？

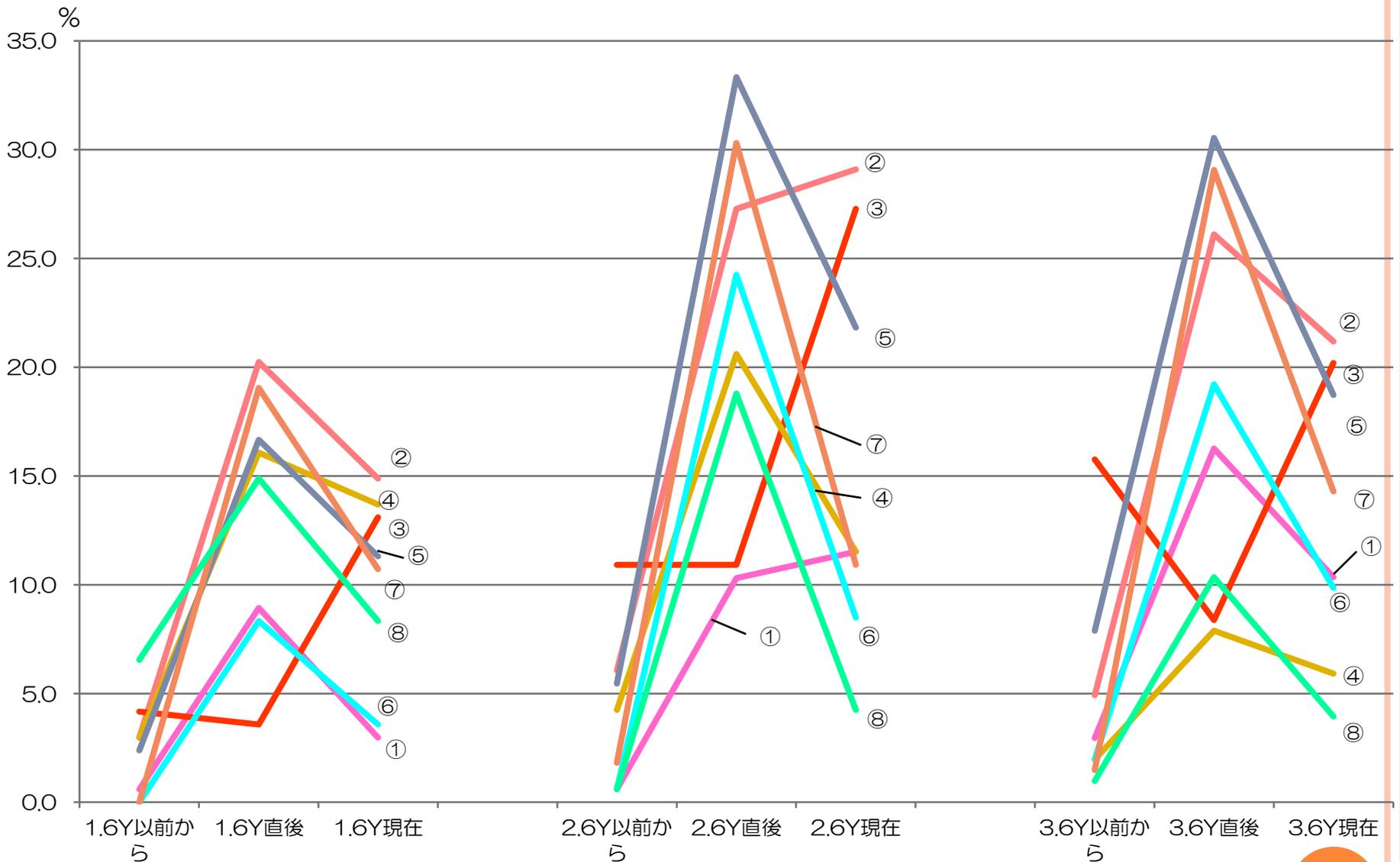
- 例) ・上の子が甘える。
- ・子どもがくっついて離れない。
- ・子どもが地震ごっこする。

6. 被災したことで、支援の要望・ご意見がありましたらご記入ください。（些細なことでも構いません）

ご協力ありがとうございました



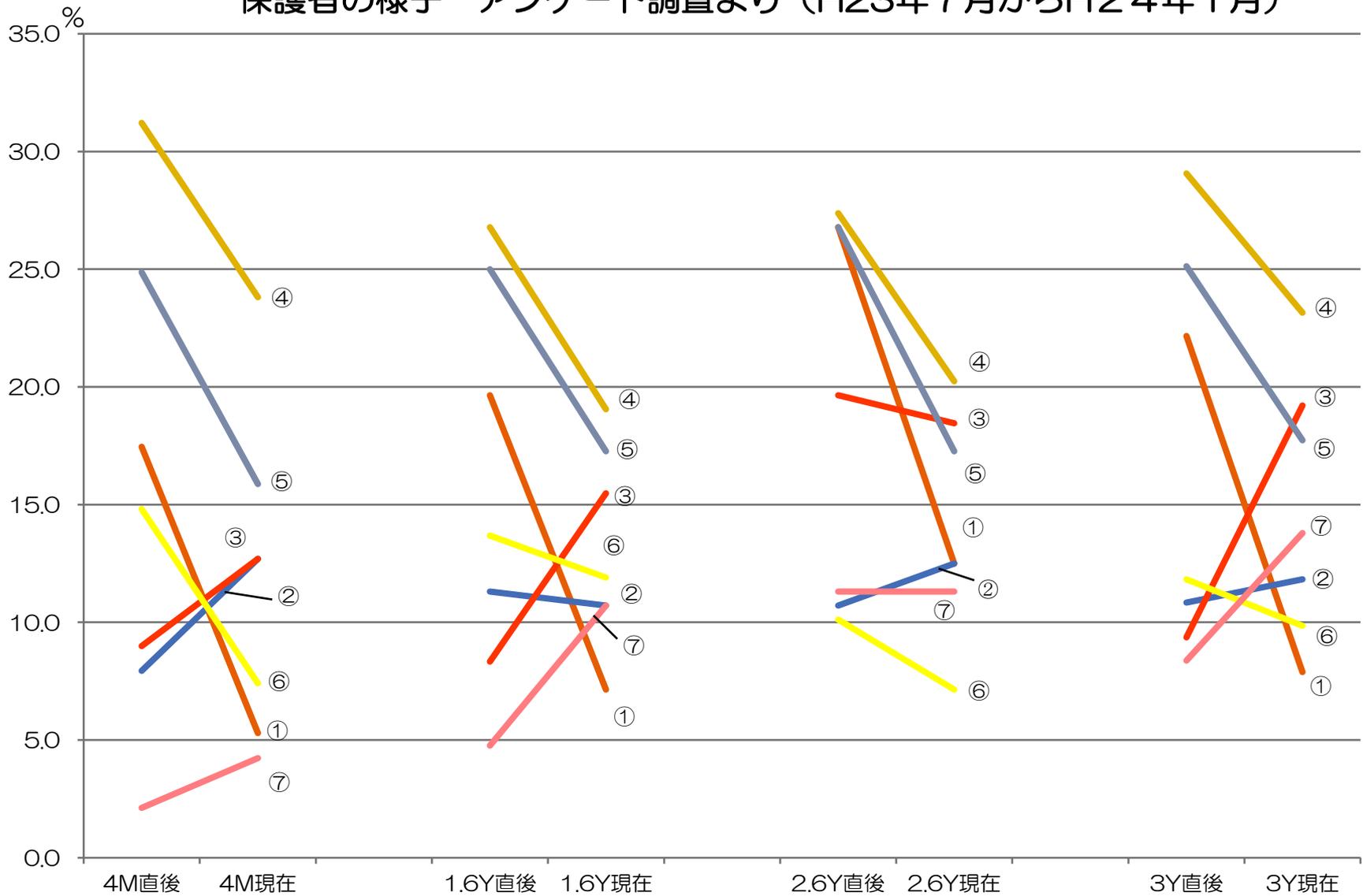
子どもの様子 アンケート調査より（H23年7月からH24年1月）



- ①赤ちゃん返り
- ②甘えが強くなる
- ③わがまま
- ④親が見えないと泣きわめく
- ⑤怖がり
- ⑥よくおびえる
- ⑦過敏になる
- ⑧夜泣き



保護者の様子 アンケート調査より（H23年7月からH24年1月）



- ①あまり眠れない
- ②身体の不調を感じる
- ③イライラしやすい、怒りっぽくなった
- ④いろいろと不安だ
- ⑤ちょっとした物音や揺れに対してひどく驚いてしまう
- ⑥気分が落ち込んだり、寂しくなったりすることがある
- ⑦子どもについて当たってしまうことが増えた気がする



子どもの様子

	1歳6か月児			2歳6か月児			3歳児		
	以前から	直後	現在	以前から	直後	現在	以前から	直後	現在
赤ちゃん返り	—			—			—		
甘えが強くなる	—			—			—		
わがまま	—			—			—		
親が見えないと泣きわめく	—			—			—		
怖がり	—			—			—		
よくおびえる	—			—			—		
過敏になる	—			—			—		
夜泣き	—			—			—		

- 保護者の様子より、子どもの「わがまま」「イヤイヤしやすい、怒りっぽくなった」「子どもについ当たってしまうことが増えた気がする」が増加した。



事例紹介

母の愛着を求めている児 Y・Wちゃん（4歳1か月）

○ 相談経緯

7月、3歳児健診時「こころとからだのアンケート」でYちゃんと母の身体症状の訴えがある。児の対応に戸惑っているため、相談となる。

○ 相談状況

- 7月末 子どものこころのケアチーム巡回相談（初回）
- 8月中旬 巡回相談（2回目）
→終了。地区担当保健師の継続フォローとなる。
- 地区担当保健師のフォロー
- 2月初旬 母と子のこころの健康相談事業にて、心理士との共同訪問



○ 今後の対応

児に向かってネガティブな言葉を浴びせるため、今後も母フォローが必要。定期的に声をかけながら養育の負担を傾聴していく。

また、保育園巡回相談にて、本児の様子を確認していく。



今後の取り組みについて

- こころとからだのアンケートの見直し
- 母と子のこころの健康相談事業継続
- 震災をきっかけに問題が表面化してきた親子へのアプローチとフォロー
- 母子の愛着形成への支援
- 原発避難者への対応



最後に

塩竈の子ども達が、広い視野を持ち、
将来の塩竈・宮城県の復興を担う子ども達に
成長することを願って・・・

今、私たちができることは
ふつうの業務を今まで通りに
ふつうに行っていくこと

「ともに支えあう 健やかさと
安心して満ちたまち しおがま」を目指して





ご清聴ありがとうございました

